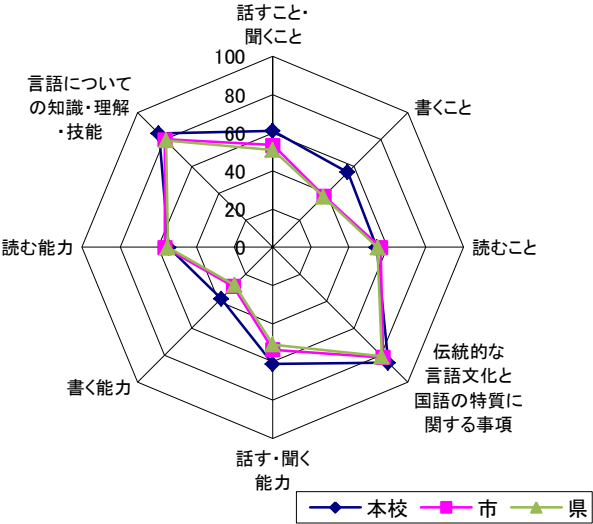


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	61.1	53.5	51.0
	書くこと	55.6	38.1	37.6
	読むこと	54.6	56.4	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	85.6	81.6	80.9
観点	話す・聞く能力	61.1	53.6	51.0
	書く能力	38.2	29.0	28.0
	読む能力	54.6	56.4	55.0
	言語についての知識・理解・技能	84.4	79.9	79.1



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	・市の平均正答率を7.5ポイント上回っている。話し方の工夫に気を付けて聞くことは、校内正答率が約9割である。要点を捉えることについては、約1割と低く、課題が見られる。	・相手の意見を聞くときは、自分の考えと比較し、共通点や相違点を見つけながら聞くように指導する。 ・朝のスピーチ等の機会を活用したり、授業中に意図的な指名を行ったりするなどして、進んで話す機会を確保する。
書くこと	・市の平均正答率を17.5ポイント上回っている。与えられたテーマに対する文章を条件に合わせて書くことについては、校内正答率が約5割であり、課題が見られる。	・行事作文や日記等を通して、継続的に作文指導を行うことで、書く習慣が身に付けられるようにする。 ・5W1Hに留意させ、明確な文章づくりが行えるようにする。
読むこと	・市の平均正答率を1.8ポイント下回っている。目的や必要に応じて文章の内容を読むことは、校内正答率が約7割である。文章の内容や必要に応じて、中心となる語や文を捉えることについては、約3割であり、苦手な傾向が見られる。	・読み取りについては、重要な文や語句などに注意して読むように指導する。 ・朝の読書の時間等を活用することで、じっくり読む習慣を身に付けられるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・市の平均正答率を4ポイント上回っている。漢字の読みは、校内正答率が9割を超えている。書きについては、約7割であり、読みと比較するとやや低い傾向が見られる。	・漢字練習に継続的に取り組めるようにし、小テストやステップアップシートを定期的に行う。 ・辞書を活用する機会を確保し、言語に関して習熟度を高めていく。